



## 文武両道の トップブリーダー校を目指して

同窓会会长 柳 谷 章 二



平成30年8月1日  
第 35 号

発行所  
青森県立青森高等学校同窓会事務局  
青森県立青森高等学校渉外部内  
〒030-0945  
青森市桜川 8-1-2  
TEL (017)742-2411  
FAX (017)742-6074



## 重点校としての役割等

校長 宍倉慎次

日頃より、柳谷会長をはじめ同窓会員の皆様方からは、本校の教育活動に対し御理解と絶大なる御支援を頂戴し、心から感謝申し上げます。特に二年後に迫つてまいりました本校創立百二十周年記念に向け同窓会が中心となつて本校のさらなる発展を願い記念事業を計画し、その成功に向け本格的に募金活動を始めたことにつきましても厚く御礼申し上げます。記念事業には二つの大きな柱がござります。

グローバル人財育成のための基金の創設と二十年近くも仮設の弓道場で練習してきた弓道部のために弓道場の新設を掲げていただきました。この二項目は本校教職員並びに関係生徒達がともに切望していることでございます。したがいまして、多くの同窓生の皆様方や法人の方々の御賛同を中心願っております。

さて、平成二十九年七月に青森県教育委員会は、青森県立高等学校教育改革推進計画第一期実施計画において、本校を「重点校」と定めました。重点校とは「生徒数が急激に減少する中につつても、各校の生徒の意欲的な取組を推進するため、選抜制の高い大学への進学に対応した取組とともに、グローバル教育や理数教育等の特定分野における先進的な取組等、今後求められる人財の育成に向けた特色ある教育活動の中核的役割を担い、一定の規模を有する学校」と定義し、本校の他に五所川原高校、弘前高校、三本木高校、田名部高校、そして、八戸高校が指定されました。それを受け今までに野球の話題になります。全国高校野球選手権大会で毎年のように上位に進出する強豪チームが多く、野球レベルの高い青森県において、私は平成十三年度と二十六年度の二度に渡つて青森県予選決勝の舞台で我が青高野球部をスタンドから応援する機会に恵まれました。今年度は、春の大

会でベスト4の快挙を成し遂げ、またあの感動と興奮をもたらしてくれることを心から願っております。

今春四月下旬、東京同窓会会員十数名の方々が、十年前に東京同窓会創立三十周年を記念して、青森高校に寄贈植樹された桜の成長を視察と言う目的で、母校を訪問されました。

当日は校長先生外、地元の同窓会の皆さん方も同席されて満開の桜の下で、フルート演奏を鑑賞しながらお花見弁当を食べ懇談致しました。東京同窓会は今年も五月上野精養軒で、四百人に近い同窓生が参加され、会場ハチ切れんばかりの賑わいの懇親会でした。そして特筆したいのは、東京同窓会会員の各同好会（あさご会、ゴルフ会、書道の会）の報告活動の写真や会員の作品展示が併催されており、年間を通しての定期的な会員の交流がなされている事の印象を深く感じました。そして今年は創立四十周年との事で、新しく合唱部が誕生し、その美声による青森中学校校歌、青森高等女学校校歌、そして青森高等学校校歌を拝聴し、感涙した所です。

小生、同窓会会长に就任して三年目になりますが、就任以来いつも自問している事は、同窓会が同窓生の皆さんにどんな役立ちになつているのかといふ事です。主たる事業は親睦会の開催、会報の発行、会員名簿の発行等ありますが、それらを通して会員間の交流が進んだり、会員の交友関係の復活や新しい出会いがなされ、卒業後の皆さん方に少しでも役立つ切掛になつてゐるのだろうかと。青森高校に入学し、在学時は文武両道の方針の下鍛えられながら悩める青春を共にした同胞達…、時を経て壮年、老年（熟年）域へと進む中、旧友との語らい、交流

はどんなにか自分を励まして前に押し出してくれた事かと感謝に胸が熱くなります。同窓会懇親会に加えて、同好趣味の会が色々と発足する等、懇親会以外に交流を図る場を皆さんと一緒に考えさせて戴きたいと思います。（既にゴルフ無限会、英文学を親しむ会が活動していますので、興味のある方は是非ご参加下さい。）

そこで、本校は来る二〇二〇年に創立百二十周年を迎える。創立以来数多くの優秀な人材を輩出して来た母校です。そしてまた、今後共に青森県下のトップブリーダー校としての役割を担つて行く事になつています。

現在、文科省からの県内唯一のスーパークローバルハイスクール（SGH）の指定と、加えてスーパー・サイエンスハイスクール（SSH）の指定を受けて教育実習が行われています。そこで創立百二十周年記念事業として、「人財育成基金の創設」と、老朽化甚だしい「弓道場の新築」を計画し、今夏より後援会、父母教師会と同窓会が一体となつて協賛会を立ち上げ募金活動をスタートさせました。

同窓生の皆さんの母校への想いや期待を、数多く寄せせて戴いて事業を成功させたいものと感じている所です。

又、募金活動を広げて行く中で、同窓生間の交友関係復活や新しい出会いが誕生してくるのではと大いに期待しています。

同窓生の皆さんの絶大なるご協賛をお願い致し

ます。

皆様方からは、本校の教育活動に対し御理解と絶大なる御支援を頂戴し、心から感謝申し上げます。特に二年後に迫つてまいりました本校創立百二十周年記念に向け同窓会が中心となつて本校のさらなる発展を願い記念事業を計画し、その成功に向け本格的に募金活動を始めたことにつきましても厚く御礼申し上げます。記念事業には二つの大きな柱がござります。

グローバル人財育成のための基金の創設と二十年近くも仮設の弓道場で練習してきた弓道部のために弓道場の新設を掲げていただきました。この二項目は本校教職員並びに関係生徒達がともに切望していることでございます。したがいまして、多くの同窓生の皆様方や法人の方々の御賛同を中心願っております。

さて、平成二十九年七月に青森県教育委員会は、青森県立高等学校教育改革推進計画第一期実施計画において、本校を「重点校」と定めました。重点校とは「生徒数が急激に減少する中につつても、各校の生徒の意欲的な取組を推進するため、選抜制の高い大学への進学に対応した取組とともに、グローバル教育や理数教育等の特定分野における先進的な取組等、今後求められる人財の育成に向けた特色ある教育活動の中核的役割を担い、一定の規模を有する学校」と定義し、本校の他に五所川原高校、弘前高校、三本木高校、田名部高校、そして、八戸高校が指定されました。それを受け今までに野球の話題になります。全国高校野球選手権大会で毎年のように上位に進出する強豪チームが多く、野球レベルの高い青森県において、私は平成十三年度と二十六年度の二度に渡つて青森県予選決勝の舞台で我が青高野球部をスタンドから応援する機会に恵まれました。今年度は、春の大

会でベスト4の快挙を成し遂げ、またあの感動と興奮をもたらしてくれることを心から願っております。

同窓会の皆様方、どうか今後とも変わらぬ御支援をお願い申し上げ結びといたします。

創立百二十周年記念に向けた  
御挨拶

青高創立百二十周年  
記念事業協賛会

会長 和田 文夫

工藤 健二  
(昭和28年3月卒業)

日頃は、青森高校に対しいろいろと御支援を頂き、誠に有難うございます。

わが校は、青森県の進学校として、創立以来幾多の著名人を輩出し社会貢献をして参り、さらに近年には、文部科学省からSGH(スーパーグローバルハイスクール)及びSSH(スーパーサイエンスハイスクール)の指定を受け、県・国に



## 母校創立百二十周年記念事業への ご協賛のお願い

青高創立百二十周年  
記念事業協賛会

実行委員長 沼田 廣

おける重要校としての任務が益々大きくなつて参りました。

この度、創立百二十周年の節目にあたり、同窓会、後援会、父母の会、学校当局が相談の結果、一つには人財育成のための事業と、もう一方では新校舎改築工事の際、移転を余儀なくされ、現在仮建物で稽古をしている弓道部員の為に、弓道場の新築をしようという二つの案がまとまりました。

そして人財育成については、後援会の事業として、次年度より「人財育成基金」を設け対応していく事と、弓道場の方は寄付金を募り新築しようという事に方針が決まりました。時節柄、御負担頂くのは誠に気の重い申し出であります。が、なにとぞ皆様の御協力を得て目的を達成致したいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

年入賞する好成績をあげています。次にグローバル人財育成基金の創設ですが、これまで本校は、文部科学省よりスーパーグローバルハイスクール(SGH)に県内唯一の指定校として認定されておりました。昨年から更にスーパーサイエンスハイスクール(SSH)にも指定されたのを機に、国内外で活躍する科学者を講師に招聘しての講演会や指導・助言を通じて科学分野でグローバルに活躍する人財育成への協力をしていくものです。但し、この基金の創設は、税控除の対象となりませんので、後援会の年度事業として次年度より予算設定することになっています。趣意書と振込用紙が間もなく届くと思いますので、ご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

記念事業と募金計画の概要は次の通りです。

・青森高校弓道場新設  
・募金募集費用 計

四千七百三十万円  
三百五十万円  
五千八十万円

〈募金計画〉

・募金目標額  
・募金額 同窓会員  
法 人

一千五百円(出来れば二千以上希望)

一般協賛者 隨意  
銀行振込、郵便振込、コンビニ振込による寄付

二〇一八年八月一日～二〇一九年七月三十一日

創立百二十周年記念事業協賛会事務局

TEL ○一七一七四二一四一一(代表)

# 創立百二十周年記念に向けて

統合青高3回生

春季県大会ベスト4の底力を  
名曲中の名曲を再び甲子園で!

創立百二十周年に華をそえる

母校ナインに

手に握るメガホンや上着の背中にモ  
「5040」の数字。  
夏、野球部が甲子園に出たが、「自分  
はお金がなくて行けなかつた」。その  
時の悔しさを晴らすため、毎年テープ  
を切り貼りして「5040」を作り、  
県大会に持参している。

最近はさうに欲が出てきて、背中の  
「5040」の後に「1」を加えた。  
1勝の意味だ。応援をするようになつ  
てから同校の甲子園出場はまだない  
が、「甲子園に出るだけでなく、勝つ  
ところを見たい。夏に向けて頑張つ  
てほしい」と後輩たちにエールを送つ  
いた。(板倉大地)

今を去ること、昭和二十六年北奥羽  
大会決勝戦で延長二十五回を制し、わ  
が青森野球部は同期六人がスタメンに  
登録しての甲子園出場であった。グラ  
ンドで乱舞したあの西日が眩しい。  
甲子園二年連続出場の際は、応援団  
五人が校費で全費用を負担しての「甲  
子園派遣」となり、その一人に私は選  
ばれていたのである。残念ながら、県  
予選三回戦で敗退し、幻の甲子園と  
なつたが、青高応援団の一員だったこ  
とで「甲子園」の三文字で心身は彩ら  
れ「わが青春」に悔いなしと思つてい  
る現在である。

爾来八十余年、母校創立百周年に  
向けて硬式野球部を「甲子園に送ろう」  
と同窓生に呼びかけ、私設応援団「三四  
郎クラブ」を誕生させた。現時点の  
会員数は二百名弱となり、自称応援団  
長(正式応援団長は甲子園出場決定時)  
となつてゐる。

県内外の公式戦には欠かさず帽子  
(笠)とグランドコートを着用し、メ  
ガホンを携えての出現(別掲朝日新聞  
記事参照)。

東北大会二年連続出場のあの日も懐  
かしい。

野球の「応援」と云うよりは、若き  
ナインお互いの鼓舞しあう「エール」  
から「若さ」を貫っているのが現実で  
ある。

そして、五回終了時のグランド整備  
中に配られる「父母会」の特製紙コッ  
ブに込められた父母のいじらしさを感  
じてのコーヒーと飴玉の美味しさは、  
エネルギーが補給される感謝感激のひ  
ときもある。

試合終了時の勝利を讃える校歌齊  
唱。青高二年時に制定された「東嶺  
岩木嶺八甲田山」の歌い出で青春が  
甦り、悔いナシの時分秒に、歓喜溢れ  
る少年に喝采。

青森高校百年史によると、青森市民  
を対象とした「近衛秀麿率いる管弦樂  
団の演奏」憲法記念演奏会(昭和二十  
六年五月二日)のプログラムに、譜  
歌「無限の象徴」と印刷されている。

青森の応援席で「5040」と「  
こあしん

「5040」掲げ84歳OBが応援

青森側スタン

青森の応援席で「5040」と「  
こあしん

で書いた笠をかぶつて声を張り上げて  
いたのは同校OBの工藤健一さん(84)。

管弦樂的な手法・芸術性・母校に対し抱いていた誇りを高揚。(一回生川原田満有氏「百年史「わが心のうた」より)

そして「無限の象徴」を、初めて歌つたのは私たちだったらしい(佐々木元東奥日報社長談)。続けて、夏の甲子園で校歌「無限の象徴」を奏楽、新入生歓迎の挨拶に代えて「無限の象徴」を歌う等々の逸話が続く「百年史」を是非是非読んで欲しい。

今年、東北春季大会には出場出来なかつたが、ナイン諸生には、校歌「無限の象徴」に寄せる同窓生(市民、県民、人間)、そして親御さんへの感謝の念を肝に銘じ、早ければ来年、遅くとも再来年の母校創立百二十周年に華を添え、「青高校歌」を五十有余年振りの甲子園の空に轟かせる絶好のチャンス到来と自覚して欲しい。甲子園で「東嶺」を歌いたいのです。

甲子園での一勝を「幻から実」に進化させ、甲子園で雄叫びしながら、球場いっぱいに響かせている「老爺」が一人いた。

## 還暦

小林直人(60歳)

(昭和52年3月卒業)

統合青高27回生

「青春や 暈は還り 朱夏となり」

中国の五行説によると人生を青春、朱夏、白秋、玄冬と四つの時期に分けます。何歳から何歳までがどの時期かは様々な説がありますが、青春の次の朱夏は人生で最も盛んな時期であり、六十歳は朱夏が終わつたのには間違ないでしよう。六十歳は一応白秋とおきます(白秋の詩が好きなので)。

ところが、還暦になつてやつと大人の仲間入りだよね、はなれ小僧卒業だす。青春を終えて朱夏をやつと迎えるのです。そうか、それで朱いチャンチャンコを着るのか(私見です)。確かに一段上のステージに上がるというのである。青春を終えて朱夏をやつと迎えるのです。そうか、それで朱いチャンチャンコを着るのか(私見です)。確かに自分自身を思えば、記憶力や体力はもちろん○○力等は峠を越しましたが、自分の判断力や調整力は円熟を迎えていいます(思い上がり)。むしろ怖いくらいで凄みさえあると他人に言われます(誰が言うか)。これも周囲の人間が年齢や風貌・地位でそういうふうに扱ってくれるからであり、若い頃のように無理をしなくてもスマーズに物事が進みます。他人の話にもよく耳を傾けるようになつたし(耳が遠くなつたから)、我満もできるようになつたし(反応が鈍くなつただけ)、かといって外見は髪の毛がまだら模様になつた頭が光つてきたり顔に皺が増えたりシミが出来たり腹が出たり足が短かたり(これは最初から)で若い頃とは別人のようになります。実際にあります(周りが我慢してただけ)。これまで定年退職はもつたらない。ここからが男盛り。

外見は髪の毛がまだら模様になつた頭が光つてきたり顔に皺が増えたりシミが出来たり腹が出たり足が短かたり(これは最初から)で若い頃とは別人のようになります。実際にあります(周りが我慢してただけ)。これまで定年退職はもつたらない。ここからが男盛り。

外見は髪の毛がまだら模様になつた頭が光つてきたり顔に皺が増えたりシミが出来たり腹が出たり足が短かたり(これは最初から)で若い頃とは別人のようになります。実際にあります(周りが我慢してただけ)。これまで定年退職はもつたらない。ここからが男盛り。

話し始めると段々あの頃と変わらない雰囲気を出してきて仕草も同じです。周りの同級生も変わり果てた姿ですが、酔つてくると視界がぼやけてきて、彼のまつたく無くなつた髪の毛さえもふさふさと生え出します。話題こそ當時は、勉強、テスト、部活、デカンショ(嘘)、アイドル、桜田淳子、岩崎宏美、女の子だつたのが、今では政治、経済、株価(嘘)、世界平和(大嘘)、持病、女の子(これは同じか!)となりました。また。まったく四十年前にタイムスリップしてしまいます。もつと言ふとだんだん幼く、無邪気になつていきました(赤ちゃん還り)。三つの魂百歳。まつたく七年前の平成二十三年、恒例の同窓会懇親会の幹事学年となりました。数年前から一部の同期生が中心となり、一~二学年上の先輩方に教えを乞いながら、同窓会懇親会成功に向けて準備をし始め、徐々に同期との再会の輪が広がつていきました。ところが本番まであと五ヵ月と迫つた三月十一日、あの東日本大震災の悲劇が日本を襲う。同窓会懇親会をやるべきか否か?そんな声もあつたものの、こういふ時だからこそ同窓会懇親会をやろう!!と一致團結した三十七回生。そして八月二十日(土)、百五十名を超える同期の仲間が集結してくれました。開催テーマは「邂逅(かいこう)」。まさに高校時代に思いがけなく出会つた仲間が、四半世紀を経て再び集い、想いを一つにし、同窓会懇親会を大成功に導いてくれました。

来るんだよ「僕は目が点になりました」「へ!俺だけど」とすると彼は怒り出します。話してたんだ!「違う組の奴が紛れ込んできたと思って調子合わせてたんだ。お前偽物だよな!」

歌手の福山雅治さん、女優の鈴木京香さん、タレントの菊池桃子さん等々、歌手の福山雅治さん、女優の鈴木京香さん、タレントの菊池桃子さん等々。ピックでは多くの日本人選手の活躍に歓喜した年。同学年の中には俳優、歌手の福山雅治さん、女優の鈴木京香さん、タレントの菊池桃子さん等々。

う大災害に見舞われ、メキシコオリンピックでは多くの日本人選手の活躍に歓喜した年。同学年の中には俳優、歌手の福山雅治さん、女優の鈴木京香さん、タレントの菊池桃子さん等々。青森高校に入学したのは昭和五十九年。校舎は勿論建替え前の古い校舎。校内は土足で、男女比は3:1、十クラス四百五十名を超える大所帯。高校を卒業した頃は、バブル景気に向けてまつしぐら、就職は正に超売り手市場という時代でした。

今から七年前の平成二十三年、恒例の同窓会懇親会の幹事学年となりました。数年前から一部の同期生が中心となり、一~二学年上の先輩方に教えを乞いながら、同窓会懇親会成功に向けて準備をし始め、徐々に同期との再会の輪が広がつていきました。ところが本番まであと五ヵ月と迫つた三月十一日、あの東日本大震災の悲劇が日本を襲う。同窓会懇親会をやるべきか否か?そんな声もあつたものの、こういふ時だからこそ同窓会懇親会をやろう!!と一致團結した三十七回生。そして八月二十日(土)、百五十名を超える同期の仲間が集結してくれました。開催テーマは「邂逅(かいこう)」。まさに高校時代に思いがけなく出会つた仲間が、四半世紀を経て再び集い、想いを一つにし、同窓会懇親会を大成功に導いてくれました。

今我々の同期生は様々な業界で活躍している、正に「責任世代」。これからも「邂逅」を大事にしながら、青森高校卒業生としての誇張つて参ります。

ついでに、青森高校同窓会パンフレット表紙

統合青高37回生

「邂逅」、  
卒業生としての誇り

堀越勇平

(昭和62年3月卒業)

我々三十七回生は、今年丁度五十歳前後の年齢です。生まれたのは、学生運動真っ盛り、青森が十勝沖地震といつことにより、諸先輩方と交流させ



## 青森高校ゴルフ同好会「無限会」

### ■ 本会について

本会は今年で42周年を迎えた同窓生で構成するゴルフ愛好会です。

活動概要は下記のとおりですが、常に和気あいあいと楽しいゴルフを目指し、80歳を超えるベテランメンバーも若い初心者メンバーも一緒にになって、同窓生同士の旧知を深めたり、好プレーや珍プレーに感心したり笑ったりしながら年5回のコン

ペを楽しんでいます。

尚、今年度は新入会員の方は年会費無料の特典が与えられているほか、卒業生だけでなく現職・元職を問わず青森高校教職員の方々も会員になれるようになりましたので教職員の皆様も是非ご参加ください。成田昌造前校長先生も早速入会され、プレーを楽しんでいただいている。

### ■ 活動の概要

1 会長 19回卒業 沼田 廣

2 メンバーの条件

本校同窓生及び**本校教職員(現職・元職)**であること

4月募集・随时入会可能

他校生でもゲストとしてオブザーバー参加可能

3 活動場所 青森カントリークラブ

4 活動回数 5・6・7・9・10月第2日曜日(5回)

毎回6~8組(24~32人)が参加

8月に行われる3校(青高・八高・弘高)対抗戦への積極的参加。例年3校合計約140人ものゴルフ愛好家が集まり、表彰式では賞品も数多く大盛り上がりです。

懇親会(10月)の実施

5 活動方法 ダブルペリア方式によるストロークプレー

1~5位・BG賞・BB賞・飛び賞・参加賞

6 現在の会員数 55名

7 年会費 3,000円(事務費)

8 例会参加費 2,000円

**全て賞品(日専連ギフトカード)として還元**

9 事務局 19回卒業 池田 好明

青森市筒井字ハツ橋156 Tel/Fax 017-738-6197



第2回例会(平成30年6月10日 青森CC)  
後列右から3人目が成田前校長先生

### 地区同窓会ご案内

東京青高同窓会	会長 太田 紀久 副会長 古跡 隆一郎 事務局 福 裕一 TEL 090-4717-1674
県庁無限会	会長 原 田 啓一
青森高校西日本同窓会	庶務担当 小林 正彦 TEL 0794-36-3603
仙台青中青高女青高会	事務局 竹内 廣 TEL 022-267-5757
弘前青高会	会長 斎藤 悅朗 副会長 内野 敦子 事務局 小野 正 TEL 0172-33-3111
平内青高同窓会	事務局 竹内 正美 TEL 017-755-3973
青高むつ下北同窓会	会長 杉山 幹彦 副会長 飛内 美津男 事務局 工藤 和彦 TEL 0175-34-9786
青高岩手県地区同窓会	会長 山谷 仁夫 副会長 藤原 雅夫 事務局 藤原 雅夫 TEL 019-672-4401

### 平成29年度青森高校同窓会庶務報告

年月日	項目	年月日	項目	年月日	項目
平成29年 6月6日(火)	同窓会会計監査 第1回同窓会運営委員会	8月12日(土) 10月12日(木)	同窓会総会・懇親会 同窓会講演会 講師 第24回生 吉原秀一氏	11月27日(月)	第2回同窓会運営委員会 第2回同窓会役員会
6月21日(水)	第1回同窓会役員会	10月13日(金)	大館市立総合病院院長	平成30年 2月28日(水)	同窓会入会式
6月24日(土)	第1回同窓会合同実行委員会	10月14日(土)	弘前青高会	3月1日(木)	卒業証書授与式
7月8日(土)	岩手県地区同窓会	10月25日(水)	むつ北同窓会	5月13日(日)	東京青高同窓会
8月1日(火)	西日本地区同窓会 会報34号発行	11月14日(火)	第2回同窓会合同実行委員会 同窓会懇親会の会計監査		

### 寄付者名簿

区分	団体・個人	金額	用途
一般・ 寄付金	青森高校バスケットボール部OB会 甲田クラブ	150,000円 100,000円	バスケットボール部活動資金 硬式野球部活動資金
	青森高校10回生 舟岡貞子氏	4,000,000円	グランドピアノ等購入資金
	青森高校68回生	5,088円	青森高校活動資金
	青森高校68回生	55,477円	青森高校活動資金
	青森高校バーボン部同窓会 三青クラブ	40,000円 20,000円	バーボン部活動資金 卓球部活動資金
	近藤信義氏	300,000円	図書購入費
	三四郎クラブ	200,000円	硬式野球部活動資金
	日本教育公務員弘済会青森支部	30,000円	自然科学部化学生物文化奨励金
	日本教育公務員弘済会青森支部	30,000円	将棋部教育文化奨励金
	日本教育公務員弘済会青森支部	30,000円	放送委員会教育文化奨励金
青森高校ボート部OB会	100,000円	ボート部活動資金	
合 計	5,060,565円	平成29年8月~平成30年7月まで	

## 平成30年3月卒業生の

## 進 路 状 況

進路指導主事

笠 井 敦 司

本年3月に卒業した生徒の進路状況についてお知らせいたします。

区分	入試年度		30	29
	2018	2017		
国 立 大 学	出願数	321	291	
	合格数	157	131	
公 立 大 学	出願数	45	48	
	合格数	21	25	
国公立出願数 計		366	339	
*国公立合格数 計		178	156	
私 立 大 学	出願数	362	464	
	合格数	114	163	
文科省所管外	出願数	8	2	
	合格数	3	2	
国公立短大	出願数	3	3	
	合格数	2	3	
私 立 短 大	出願数	5		
	合格数		2	
専修各種等	出願数	2	4	
	合格数	2	4	

## ■国公立大学合格状況について

国公立	2018年入試			2017年入試		
	H30卒	過年度	計	H29卒	過年度	計
北海道大	2	6	8	9	2	11
弘前大	49	8	57	54	8	62
岩手大	13	1	14	9	1	10
東北大	27	4	31	7	6	13
山形大	3	1	4	6		6
筑波大	5		5	5	1	6
埼玉大	4	1	5	5	2	7
千葉大	7		7	5		5
東京大	2	1	3	1	1	2
東京外大	3		3			
東京学芸大	3		3			
東京工業大	2		2			
一橋大			1	1	2	
横浜国立大	2		2	3		3
横浜市立大			4		4	
京都大				1	1	
大阪大	1		1	2		2
神戸大			2		2	
その他の	55	6	61	43	10	53
合 計	178	28	206	156	33	189

国立・公立あわせて現役生はのべ366名が受験し、178名が合格しました。東大・京大をはじめとする難関10大学には34名が合格しました(昨年度は

22名)。国公立医学部医学科の合格は現浪併せて19名でした。東北大医学部合格者数4名は全国屈指の結果です。

また推薦・AO入試での合格は31名であり、東北大学AOは8名、弘前大学医学科は10名でした。

## ■私立大学合格状況について

合格者は145名でした。難関私立大(早慶理科大、MARCH、関関同立)の合格者数は68名に上りました。

私 立	2018年入試			2017年入試		
	H30卒	過年度	計	H29卒	過年度	計
早稲田大	8	4	12	9	3	12
慶應義塾大	6	3	9	4		4
明治大	3	3	6	13	8	21
青山学院大	2		2	1		1
立教大				5	2	7
中央大	19	1	20	8	2	10
法政大	4	3	7	9	4	13
学習院大				1		1
日本大	3	1	4	5	1	6
東洋大	5	1	6	6	1	7
駒澤大	2	1	3	1	1	2
専修大	1		1	1		1
津田塾大	1		1	4	2	6
東京理大	4	2	6	8	5	13
明治学院大				5		5
同志社大	1	2	3	2		2
立命館大		3	3	6	4	10
関西大				1		1
東北学院大	2		2	1	1	2
東北医薬大	4	1	5	6	1	7
自治医大	1		1	1		1
東北大医薬			2	2		
私 立 計	1	3	4		2	2



## ■総 評

68回生は学習への取り組み姿勢が真摯で、集中力もあり、最後まで粘り強く努力する学年でした。先生方に積極的に質問するなど、謙虚にそして熱心に勉学に励んでいました。そうした妥

協を許さない態度が難関大学の合格実績に反映しています。特に東北大は昨年東大・京大と並んで指定国立大学に選定されたこともあり、その人気はいまや全国区、関東はもちろん北陸東海からの受験者が増え、入試は激化しています。合格者に占める東北地区出身者の割合がついに関東を下回ってしまったのです。その中にあって現浪合わせて合格31名は、大健闘と言えます。これは全国ではトップ10の実績です。

2年後に新しい選抜方式が導入されます、その前段階として大学によっては昨年度、今年度から選抜方式を変更しています。具体的には、面接などで学ぶ意欲や目的意識、論理的思考力をはかるものです。知識を使って考え、答えのない課題を解決する本当の学力が求められるのです。

医学科	2018年入試			2017年入試		
	H30卒	過年度	計	H29卒	過年度	計
弘前大	10	3	13	15	2	17
東北大	3	1	4	1	1	2
富山大				1		1
北海道大		2	2			
国 公 立 計	13	6	19	17	3	20
東京医大					1	1
東京女子医大		1	1			
自治医大	1		1		1	1
東北大医薬		2	2			
私 立 計	1	3	4		2	2

薬学部	2018年入試			2017年入試		
	H30卒	過年度	計	H29卒	過年度	計
北海道大					2	2
富山大				1		1
東北大	1	1	2			
国 公 立 計	1	1	2	3		3
慶應大				1		1
青森大				2	1	3
東北医薬大	4		4	6	1	7
北海道薬大				2		2
北里大				1	1	2
明治薬大	1		1	1		1
国際医療大					1	1
北海道医療大					1	1
東京薬大	1		1			
星薬大	1		1			
東京理大	1		1			
私 立 計	8	0	8	13	5	18

## 部活動の記録

平成29年度

部活名	大会名等／種目	成績	氏名(学年)
	平成29年度春季ボート選手権大会兼むつ市長杯争奪競漕大会		
男子蛇手付クォドルブル	第2位	青森高校	佐藤友紀(3)
男子ダブルスカル	第3位	岩井隆太朗(2)	
男子シングルスカル	第2位	木村日向(3)	
男子シングルスカル	第3位	金澤周那(3)	
女子蛇手付クォドルブル	第1位	青森高校A	
女子ダブルスカル	第3位	松村瑞樹(3)	
女子シングルスカル	第2位	江渡彩タ子(2)	
女子シングルスカル	第3位	丸岡実桜(2)	
一戸梨乃(2)			
第70回青森県高等学校総合体育大会			
男子総合	第2位	青森高校	
男子蛇手付クォドルブル	第2位	青森高校	
男子ダブルスカル	第2位	竹谷春希(3)	
男子シングルスカル	第1位	木村日向(3)	
女子総合	第1位	青森高校	
女子蛇手付クォドルブル	第1位	青森高校	
女子ダブルスカル	第1位	武井早紀(2)	
女子シングルスカル	第2位	一戸梨乃(2)	
1・2年生大会男子蛇手付クォドルブル	第3位	青森高校	
1・2年生大会男子シングルスカル	第1位	岩井隆太朗(2)	
1・2年生大会女子蛇手付クォドルブル	第1位	青森高校	
1・2年生大会女子ダブルスカル	第1位	高橋芽衣(1)	
1・2年生大会女子シングルスカル	第1位	東ひより(2)	
平成29年度東北高等学校選手権大会			
女子蛇手付クォドルブル	第1位	青森高校	
平成29年度青森県秋季ボート選手権大会兼			
朝日杯争奪ボート大会兼青森県高等学校ボート新人選手権大会			
男子蛇手付クォドルブル	第2位	青森高校A	
男子ダブルスカル	第1位	佐々木舜世(1)	
男子シングルスカル	第3位	竹谷暁(2)	
女子蛇手付クォドルブル	第1位	青森高校	
女子ダブルスカル	第1位	高橋芽衣(1)	
女子シングルスカル	第1位	江渡彩タ子(2)	
第32回東北高等学校選抜ボート大会			
女子シングルスカル	第3位	菊池明音(2)	
第70回青森県高等学校総合体育大会剣道競技			
男子団体	第3位	青森高校	
サッカー部	平成29年度青森県高等学校サッカー春季大会青森地区大会		
	第1位	青森高校	
ソフトボール部	平成29年度青森県市校ソフトボール総体前研修大会		
	第1位	青森高校	
テニス部	平成29年度青森県高等学校春季テニス選手権大会		
男子シングルス	第1位	木立理矩人(3)	
男子ダブルス	第2位	木立理矩人(3)	
第70回青森県高等学校総合体育大会テニス競技			
男子団体	第3位	青森高校	
女子団体	第3位	青森高校	
男子個人シングルス	第1位	木立理矩人(3)	
平成29年度県下高校新人テニス選手権大会			
男子ダブルス	第3位	神勇大(2)	
女子団体	第3位	吉田壮汰(2)	
平成29年度青森県室内ダブルス選手権大会			
女子ダブルス	第3位	立石理胡(2)	
平成29年度青森県高体連テニス専門部県下高校室内テニス大会			
女子ダブルス	第1位	立石理胡(2)	
男子ダブルス	第3位	福士舞(1)	
弓道部	第67回青森県高等学校春季ハンドボール選手権大会		
男子の部	第1位	青森高校	
ハンドボール部	第70回青森県高等学校総合体育大会		
男子の部	第1位	青森高校	
第67回青森県高等学校秋季ハンドボール選手権大会			
女子の部	第2位	青森高校	
第41回全国高校選抜青森県第二次予選会			
女子の部	第2位	青森高校	
平成29年度春季県下高等学校弓道大会			
男子団体	第1位	青森高校	
平成29年度第21回県下高等学校弓道大会			
男子団体	第2位	青森高校	
空手道部	平成29年度青森県高体連空手道専門部春季大会		
女子個人形	第3位	岡田夏鈴(3)	
ラグビー部	第3位	岡田夏鈴(3)	
第63回青森県高等学校ラグビーフットボール春季大会			
7人制	第1位	青森高校	
第70回青森県高等学校総合体育大会ラグビーフットボール			
7人制	第1位	青森高校	
卓球部	第70回青森県高等学校総合体育大会卓球競技会東青地区予選会		
女子シングルス	第3位	黒瀧雅香子(2)	
第6回全世界ウエイト剣空手道選手権大会 女子軽量級	第3位	竹谷彩佑(3)	
カーリング 第13回全国高等学校カーリング選手権大会 男子の部	第1位	青森県選抜	

## 文化部

部・委員会名	大会・コンクール名／種目	成績	氏名(学年)
	第84回N HK全国学校音楽コンクール青森県コンクール		
高等学校の部	銀賞	青森高校	
平成29年度全日本合唱コンクール青森県大会	金賞	青森高校	
第69回全日本合唱コンクール東北支部大会	銀賞	青森高校	
第26回青森県声楽アンサンブルコンテスト	金賞	青森高校 vitae	
	銀賞	青森高校 Heimatlosen	
音楽部	第11回声楽アンサンブルコンテスト全国大会		
高等学校部門	銀賞	青森高校	
	Dieter Wargner賞	青森高校	
第38回青森県高等学校総合文化祭日本音楽部門	優良賞	青森高校	
生活科学部	第62回青森県高等学校家庭クラブ連盟研究発表大会		
	優秀賞	青森高校	

## 運動部

部活名	大会名等／種目	成績	氏名(学年)
	平成29年度青森県春季陸上競技選手権大会		
男子110mハードル	第3位	川村修輝(3)	
女子400m	第3位	鈴木麻葉美(3)	
女子800m	第1位	山口光(2)	
女子5000m競歩	第1位	沼辺暎樹(3)	
女子4×400mリレー	第1位	青森高校	
第70回青森県高等学校総合体育大会			
男子混合競技	第1位	川村修輝(3)	
女子400m	第3位	山口光(2)	
女子800m	第1位	山口光(2)	
女子5000m競歩	第1位	沼辺暎樹(3)	
女子4×400mリレー	第3位	青森高校	
第72回国民体育大会青森県選手権考査会			
女子800m	第1位	山口光(2)	
第42回青森県高等学校新人陸上競技対抗選手権大会			
女子400m	第1位	川村茅依(2)	
女子100mハードル	第3位	高橋芽衣(1)	
女子800m	第1位	山口光(2)	
青森県秋季陸上競技選手権大会			
女子砲丸投	第3位	最上明日佳(1)	
女子5000m競歩	第3位	島七海(1)	
女子100mハードル	第3位	川村茅依(2)	
女子走高跳	第3位	安田香乃(1)	
女子1500m	第1位	高橋詩央里(2)	
女子800m	第1位	高橋詩央里(2)	
女子800m	第2位	高橋詩央里(2)	
JOCジュニアオリンピックカップ第11回U18日本陸上競技選手権大会			
	優秀選手賞	山口光(2)	
第52回青森市春季高等学校水泳競技大会			
男子400m自由形	第3位	智田泰斗(3)	
男子100m平泳ぎ(大会新)	第1位	佐々木穂絵(2)	
男子100m平泳ぎ	第2位	小山田徹太(3)	
男子200m平泳ぎ	第1位	佐々木穂絵(2)	
男子200m平泳ぎ	第2位	小山田徹太(3)	
男子100mバタフライ	第1位	藤野尚之(2)	
男子200mバタフライ	第1位	藤野尚之(2)	
男子4×100mフリーリレー(大会新)	第1位	青森高校	
男子4×100mメドレーリレー(大会新)	第1位	青森高校	
男子総合	第2位	青森高校	
	優秀選手賞	佐々木穂絵(2)	
女子100m自由形(大会新)	第1位	阿部なつき(1)	
女子200m自由形(大会新)	第1位	阿部なつき(1)	
女子100m平泳ぎ	第2位	三上梨南(3)	
女子200m平泳ぎ	第2位	三上梨南(3)	
	優秀選手賞	阿部なつき(1)	
第70回青森県高等学校総合体育大会水泳競技			
男子50m自由形	第1位	佐々木穂絵(2)	
男子100mバタフライ	第1位	藤野尚之(2)	
男子200mバタフライ	第2位	藤野尚之(2)	
男子100m平泳ぎ	第1位	佐々木穂絵(2)	
男子100m平泳ぎ	第2位	小山田徹太(3)	
男子200m平泳ぎ	第2位	小山田徹太(3)	
男子4×100mメドレーリレー	第2位	青森高校	
男子4×100mフリーリレー	第2位	青森高校	
男子4×200mフリーリレー	第2位	青森高校	
男子総合	第3位	青森高校	
	優秀選手賞	阿部なつき(1)	
女子100m自由形(大会新)	第1位	阿部なつき(1)	
女子200m自由形(大会新)	第1位	阿部なつき(1)	
女子100m平泳ぎ	第2位	三上梨南(3)	
女子200m平泳ぎ	第2位	三上梨南(3)	
	優秀選手賞	阿部なつき(1)	
第70回青森県高等学校選手権水泳競技大会			
第65回東北高等学校選手権水泳競技大会県予選会			
男子50m自由形	第1位	佐々木穂絵(2)	
男子100m平泳ぎ	第2位	佐々木穂絵(2)	
男子100m平泳ぎ	第3位	小山田徹太(3)	
男子100mバタフライ	第1位	藤野尚之(2)	
男子200mバタフライ	第2位	藤野尚之(2)	
男子100m平泳ぎ	第1位	佐々木穂絵(2)	
男子100m平泳ぎ	第2位	小山田徹太(3)	
男子200m平泳ぎ	第2位	小山田徹太(3)	
男子4×100mメドレーリレー	第2位	青森高校	
男子4×200mリレー	第2位	青森高校	
男子総合	第3位	青森高校	
	優秀選手賞	阿部なつき(1)	
女子100m背泳ぎ	第3位	齊藤優衣(2)	
女子200m背泳ぎ	第3位	齊藤優衣(2)	
女子50m自由形	第2位	齊藤優衣(2)	
女子100m自由形	第2位	阿部なつき(1)	
女子200m背泳ぎ	第1位	阿部なつき(1)	
女子200m背泳ぎ	第3位	三上梨南(3)	
	優秀選手賞	阿部なつき(1)	
第70回青森県高等学校選手権水泳競技大会			
第25回東北高等学校新人水泳競技大会県予選会			
男子50m自由形	第1位	佐々木穂絵(2)	
男子100m平泳ぎ	第2位	佐々木穂絵(2)	
男子100m平泳ぎ	第3位	小山田徹太(3)	
男子100mバタフライ	第1位	藤野尚之(2)	
男子200mバタフライ	第2位	藤野尚之(2)	
男子4×100mリレー	第3位	青森高校	
男子4×200mリレー	第2位	青森高校	
男子総合	第3位	青森高校	
	優秀選手賞	阿部なつき(1)	
女子50m自由形	第2位	阿部なつき(1)	
女子100m自由形	第2位	阿部なつき(1)	
女子200m平泳ぎ	第2位	三上梨南(3)	
女子200m平泳ぎ	第2位	三上梨南(3)	
女子100m背泳ぎ	第3位	齊藤優衣(2)	
女子200m背泳ぎ	第3位	齊藤優衣(2)	
	優秀選手賞	齊藤優衣(2)	
第57回青森県高等学校新人選手権水泳競技大会			
第25回東北高等学校新人水泳競技大会県予選会			
男子50m平泳ぎ	第1位	佐々木穂絵(2)	
男子100m平泳ぎ	第1位	佐々木穂絵(2)	
男子100m平泳ぎ	第1位	小山田徹太(3)	
男子100mバタフライ	第2位	藤野尚之(2)	
男子200mバタフライ	第2位	藤野尚之(2)	
男子4×100mリレー	第3位	青森高校	
男子4×200mメドレーリレー	第2位	青森高校	
男子4×200mリレー	第3位	青森高校	
男子総合	第3位	青森高校	
	優秀選手賞	阿部なつき(1)	
女子50m自由形	第2位	阿部なつき(1)	
女子100m自由形	第2位	阿部なつき(1)	
女子200m平泳ぎ	第2位	三上梨南(3)	
女子200m平泳ぎ	第2位	三上梨南(3)	
女子100m背泳ぎ	第3位	齊藤優衣(2)	
女子200m背泳ぎ	第3位	齊藤優衣(2)	
	優秀選手賞	齊藤優衣(2)	
平成29年度青森県高等学校スプリント選手権水泳競技大会			
男子50m平泳ぎ	第1位	佐々木穂絵(2)	
男子50m平泳ぎ	第2位	藤野尚之(2)	
男子50mバタフライ	第1位	藤野尚之(2)	
男子100m個人メドレー	第1位	佐々木穂絵(2)	
女子50mバタフライ	第1位	阿部なつき(1)	
女子50m背泳ぎ	第1位	齊藤優衣(2)	
混合4×50mメドレーリレー	第1位	青森高校	
混合4×50mフリーリレー	第1位	青森高校	
混合4×50mメドレーリレー	第1位	青森高校	
第25回東北高等学校新人水泳競技大会			
男子100m平泳ぎ	第1位	佐々木穂絵(2)	
女子50m平泳ぎ	第2位	阿部なつき(1)	
女子100m自由形	第3位	阿部なつき(1)	
青森県高等学校最高記録証 50m自由形			
(第25回東北高等学校新人水泳競技大会)			
青森県最高記録証 100m平泳ぎ			
(第25回東北高等学校新人水泳競技大会)			
青森県水泳連盟会長賞			
	佐々木穂絵(2)		
	阿部なつき(1)		

部・委員会名	大会・コンクール名／種目	成績	氏名(学年)
図書委員会	青森県高等学校読書感想文コンクール		
	課題図書の部	最優秀賞	佐藤 芽南(1)
	自由図書の部	優秀賞	藤澤 花帆(1)
	自由図書の部	優良賞	瀧本 悠玄(1)
	自由図書の部	優良賞	中嶋 祐斗(1)
	自由図書の部	入選	矢部 千唯(1)
国語科	平成29年度 あおもりの中学生・高校生による「大切なあなたへ薦める青春の一冊」高校生の部		
	優秀賞	吉町 文子(2)・工藤 千夏(2)・佐藤 芽南(1)・中江川大夢(1)・ 工藤さくら(1)	
	奨励賞	大田原笙子(2)・山本 沙貴(2)・富岡明日香(2)・山本 葉月(2)・ 幸田 野花(1)・三浦 雪絵(1)・佐々木啓介(1)・中沢莉衣奈(1)	
個人参加	東京国際声楽コンクール高校生部門	入選	戸一戸 春乃(3)

平成29年度 各賞受賞者			
<b>■ ボート</b>			
青森県高等学校体育連盟	優秀選手賞	木村 日向(3)	
		田中 碧(3)	
青森市スポーツ賞		田中 碧(3)	
		笠田 和香(3)	
		森山 葵(3)	
		小笠原日向子(2)	
青森県ボート協会長賞			
<b>■ ハンドボール</b>			
青森県ハンドボール協会	ベストセブン賞	西岡 蓮(3)	
青森県高等学校体育連盟	優秀選手賞	伊藤 悠真(3)	
		甲地 拓登(3)	
		伊藤 悠真(3)	
青森県高体連ハンドボール専門部 部長賞			
久保内健大(3)	三上 雄聖(3)	田中 涼大(3)	
北田 瑛希(3)	川口 健斗(3)	佐藤 晴士(3)	
青森県スポーツ奨励賞		西岡 蓮(3)	
<b>■ テニス</b>			
青森県高等学校体育連盟	優秀選手賞	木立理矩人(3)	
<b>■ バレーボール</b>			
青森県高等学校体育連盟	優秀選手賞	柿崎 皓喜(3)	
<b>■ 空手</b>			
青森市スポーツ賞		竹谷 彩佑(3)	
<b>■ 将棋</b>			
青森県高等学校文化連盟 連盟賞		青森高校	
■ 平成29年度青森県教育委員会 善行賞		渡邊 咲季(2)	

部・委員会名	大会・コンクール名／種目	成績	氏名(学年)
放送委員会	平成29年度青森地区春季高校放送コンテスト		
	アナウンス部門	第1位	坪谷 歩香(3)
	アナウンス部門	第3位	小川野々花(3)
	新人部門	第2位	三浦 雪絵(1)
	平成29年度青森県高等学校放送コンテスト兼第64回NHK杯全国放送コンテスト青森県予選会		
	アナウンス部門	第2位	坪谷 歩香(3)
	入選		小川野々花(3)
	アナウンス部門	入選	福士 花絵(3)
	アナウンス部門	入選	渋谷 真咲(2)
	アナウンス部門	入選	佐藤 悠多(2)
	朗読部門	入選	棟方 瑞舞(3)
	朗説部門	入選	谷地中樹里(2)
	テレビドラマ部門	第2位	青森高校
	ラジオドラマ部門	第1位	駒井恵理那(2)
	テレビドキュメント部門	第2位	福士 花絵(3)
	総合	第2位	青森高校
	平成29年度青森県青森地区秋季放送コンテスト		
	アナウンス部門	第3位	渋谷 真咲(2)
	第38回青森県高等学校総合文化祭放送部門		
	テレビ番組部門	最優秀賞	青森高校
	テレビ番組部門	優秀賞	青森高校
	ラジオ番組部門	最優秀賞	青森高校
	ラジオ番組部門	優秀賞	青森高校
	研究発表部門	優秀賞	青森高校
	朗説部門	優良賞	荒闇 祐奈(2)
	朗説部門	優良賞	谷地中樹里(2)
	アナウンス部門	優秀賞	三浦 雪絵(1)
	アナウンス部門	優良賞	渋谷 真咲(2)
	第21回東北高等学校放送コンテスト		
	ラジオキャンペーン部門	入選	青森高校
	テレビキャンペーン部門	入選	青森高校
	アナウンス部門	奨励賞	三浦 雪絵(1)
	青森県吹奏楽コンクール第37回中央地区大会		
	高等学校の部	金賞	青森高校
	第42回アンサンブルコンテスト		
	打楽器四重奏	金賞	青森高校
	管楽八重奏	金賞	青森高校
	サクソフォン四重奏	金賞	青森高校
	金管四重奏	銀賞	青森高校
	金管五重奏	銀賞	青森高校
	第60回青森県高等学校将棋選手権大会		
	男子団体戦	第1位	青森高校 A
	第38回青森県高等学校総合文化祭将棋部門		
	男子個人戦A組	第3位	工藤 慎矢(2)
		第3位	木浪 悠太(1)
	第38回青森県高等学校総合文化祭将棋部門	第1位	若宮 明陽(1)
	平成29年度青森県高等学校開基新入大会		
	女子クラス	第1位	若宮 明陽(1)
	第38回青森県高等学校総合文化祭自然科学部門		
	自然科学部門	優良賞	青森高校
		奨励賞	青森高校
	平成29年度「科学の甲子園」青森県大会		
	第3位	青森高校 B	
	情報部門賞	青森高校 A	
	化学部門賞	青森高校 A	
	数学部門賞	青森高校 A	

部活名	大会名等／種目	成績	氏名(学年)
ボート部	平成30年度春季ボート選手権大会兼むつ市長杯争奪競漕大会		
	女子舵手付クォドルブル	第1位	青森高校
	女子ダブルスカル	第1位	高橋 芽衣(2)
	女子ダブルスカル	第3位	江渡彩夕(3)
	女子シングルスカル	第2位	津島 莉奈(2)
	男子舵手付クォドルブル	第1位	青森高校
	男子ダブルスカル	第1位	竹谷 篤(3)
	第71回青森県高等学校総合体育大会ボート競技		
	女子総合(3年連続優勝)	第1位	青森高校
	女子舵手付クォドルブル	第1位	青森高校
	女子ダブルスカル	第2位	高橋 芽衣(2)
	女子シングルスカル	第3位	菊池 明音(3)
	男子総合	第2位	青森高校
	男子舵手付クォドルブル	第1位	青森高校
	1・2年生大会 男子舵手付クォドルブル	第2位	青森高校
	1・2年生大会 女子ダブルスカル	第2位	堀内 真琴(1)
	平成30年度東北高等学校選手権大会ボート競技		
	女子舵手付クォドルブル	第3位	青森高校

部活名	大会・コンクール名／種目	成績	氏名(学年)
文化部	第61回青森県高等学校将棋選手権大会		
将棋部	男子団体戦	第3位	加川 阳彩(1)
			西塚 清典(2)
	男子個人戦	第1位	木浪 悠太(2)
	女子個人戦	第1位	石川明香里(1)
囲碁部	第42回全国高校囲碁選手権大会青森大会		
	女子個人戦	第1位	若宮 明陽(2)
放送委員会	青森県高等学校文化連盟放送部主催平成30年度青森県春季放送コンテスト		
	朗読部門	第3位	谷地中樹里(3)
	アナウンス部門	第3位	三浦 雪絵(2)
	アナウンス新人部門	第2位	長崎 紗枝(1)
	平成30年度青森県高等学校放送コンテスト兼第65回NHK杯全国放送コンテスト青森県予選会		
	アナウンス部門	入選	佐藤 悠多(3)
	アナウンス部門	入選	渋谷 真咲(3)
	アナウンス部門	入選	三浦 雪絵(2)
	朗説部門	入選	荒闇 祐奈(3)
	朗説部門	入選	谷地中樹里(3)
	朗説部門	入選	飯塚 廉(2)
	ラジオドキュメント部門	第1位	青森高校
	ラジオドキュメント部門	第2位	青森高校
	創作ラジオドラマ部門	第2位	青森高校
	創作テレビドラマ部門	第1位	青森高校
	研究発表部門	第1位	青森高校
	総合	第2位	青森高校

部活名	大会名等／種目	成績	氏名(学年)
運動部	2017年度一般財團法人青森陸上競技協会	優秀選手賞	山口 光(3)
陸上競技部	平成30年度青森県春季陸上競技選手権大会		
	女子 400m	第1位	山口 光(3)
	女子 800m	第3位	山口 光(3)
	第71回青森県高等学校総合体育大会陸上競技		
	女子 400m	第1位	山口 光(3)
	女子 800m	第1位	山口 光(3)
	女子 4 × 400mリレー	第3位	青森高校
	男子 400m	第2位	山口 光(3)
	女子 400m	第1位	山口 光(3)
	男子 800m	第1位	山口 光(3)
	女子 4 × 400mリレー	第3位	青森高校
	国民体育大会兼東北選手権大会青森県選手選考会		
	女子 800m	第2位	山口 光(3)
	女子 4 × 400mリレー	第3位	青森高校
	第71回青森県高等学校総合体育大会水泳競技		
	男子総合	第3位	青森高校
	男子 100m自由形	第3位	熊澤 真輝(1)
	男子 100m平泳ぎ	第1位	佐々木禎紘(3)
	男子 100m平泳ぎ	第3位	森山 翔瑛(1)
	男子 200m平泳ぎ(県新記録)	第1位	佐々木禎紘(3)
	男子 100mバタフライ	第1位	藤野 尚之(3)
	男子 200mバタフライ	第2位	藤野 尚之(3)
	男子 4 × 100mメドレーリレー	第2位	青森高校
	男子 4 × 100mフリーリレー	第2位	青森高校
	男子 4 × 200mフリーリレー	第2位	青森高校
	男子 優秀選手賞	佐々木禎紘(3)	
	女子総合	第3位	青森高校
	女子 100m自由形	第1位	阿部なつき(2)
	女子 200m自由形	第1位	阿部なつき(2)
	女子 100m背泳ぎ(県新記録)	第1位	齊藤 優衣(3)
	女子 200m背泳ぎ(大会新記録)	第2位	齐藤 優衣(3)
	女子 優秀選手賞	阿部なつき(2)	
	第71回青森県高等学校選手権水泳競技大会		
	第66回東北高等学校選手権水泳競技大会県予選会		
	男子総合	第3位	青森高校
	優秀選手賞	藤野 尚之(3)	
	男子 100m平泳ぎ	第1位	佐々木禎紘(3)
	男子 100m平泳ぎ	第3位	森山 翔瑛(1)
	男子 200m平泳ぎ(大会新記録)	第1位	佐々木禎紘(3)
	男子 100mバタフライ	第1位	藤野 尚之(3)
	男子 4 × 100mメドレーリレー	第3位	青森高校
	男子 4 × 100mフリーリレー	第3位	青森高校
	男子 4 × 200mフリーリレー	第3位	青森高校
	優秀選手賞	阿部なつき(2)	
	女子 50m自由形	第1位	阿部なつき(2)
	女子 100m自由形	第1位	阿部なつき(2)
ハンドボール部	第71回青森県高等学校総合体育大会ハンドボール競技		
	女子の部	第2位	青森高校

平成 30 年度  
幹事会 第44回生(平成6年卒)

# 青森高校同窓会・総会

One 4 all,

All 4 One

8月12日(日) 於=ホテル青森 青森市堤町1丁目1-23

総会16時より／懇親会17時より(受付16時30分から) 会費=5,000円(懇親会費)

お問い合わせ先=TEL 017-742-2636(稲見建築設計事務所内 稲見公介)



編集後記

現役生のために、労を惜しまず働きかけてくださっている同窓生の姿を目にするたび、本校は同窓生の深い愛校心とやさしさに支えられているのだと実感します。会報を通じて、同窓生の思いを多くの方々に届けていきたいと思います。原稿をお寄せいただいた皆様、ありがとうございました。